

ノリ養殖環境速報 KH-30-16 (播磨灘)

平成31年4月4日 発行

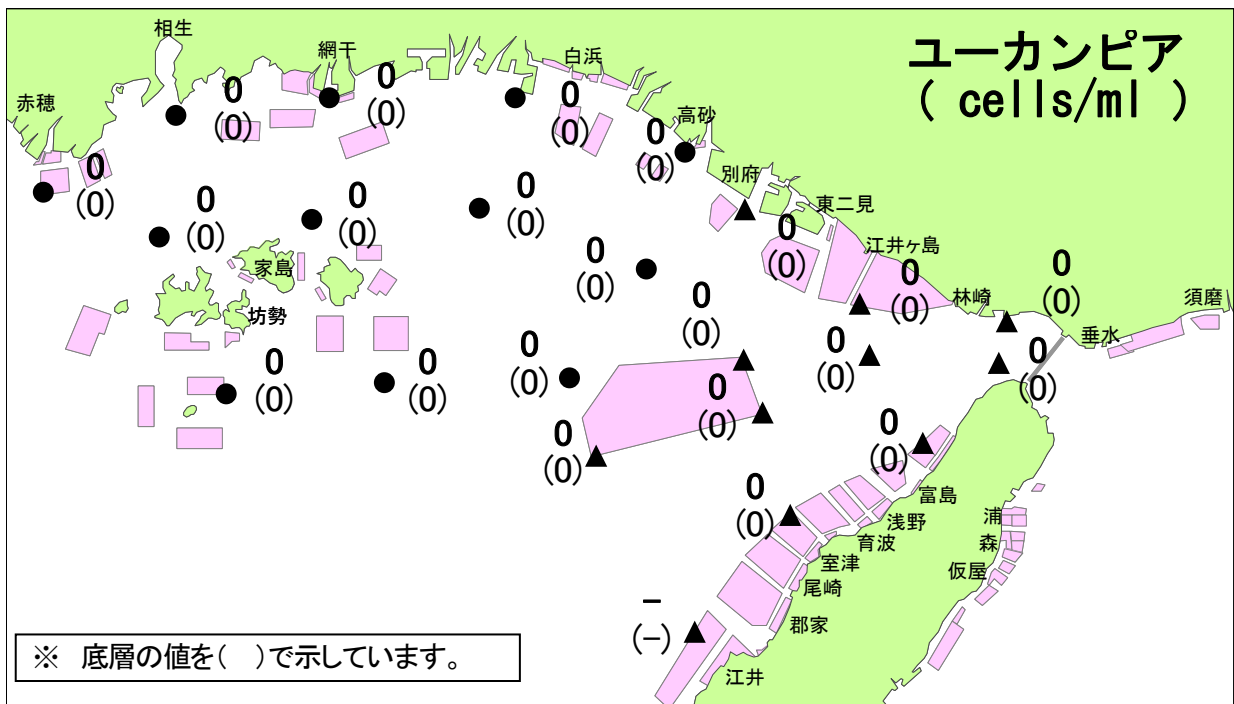
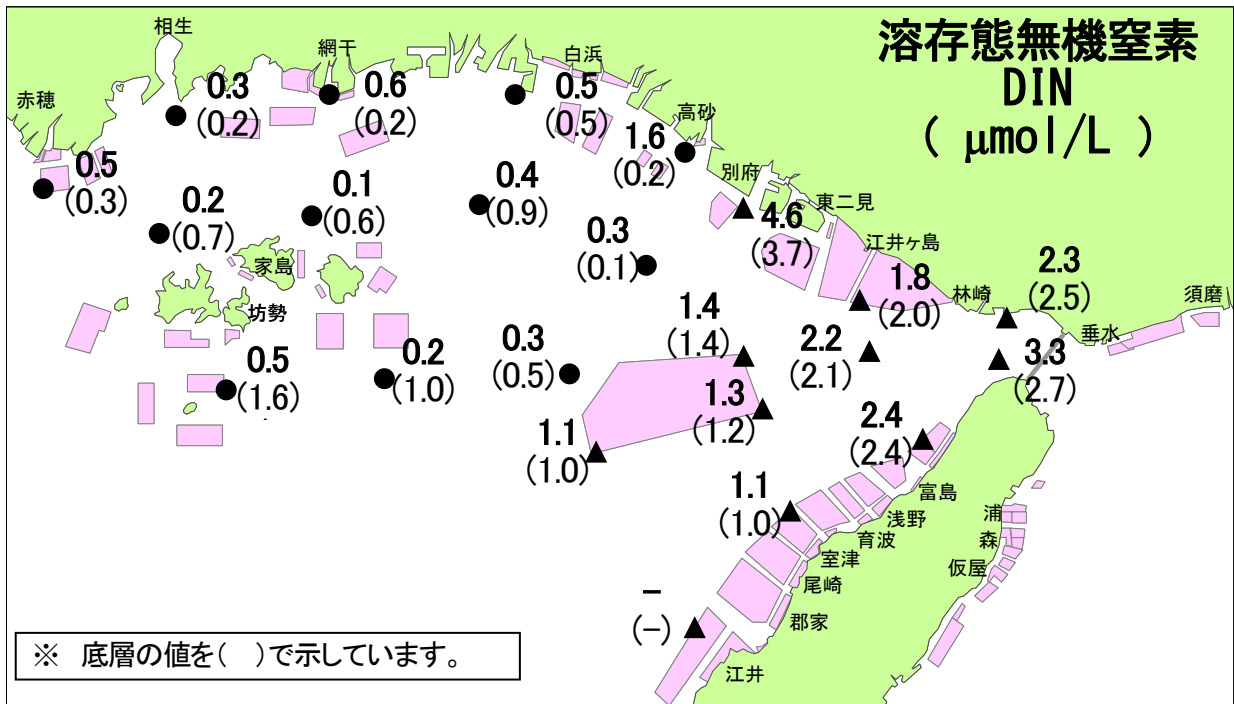
調査年月日：平成31年4月2～3日

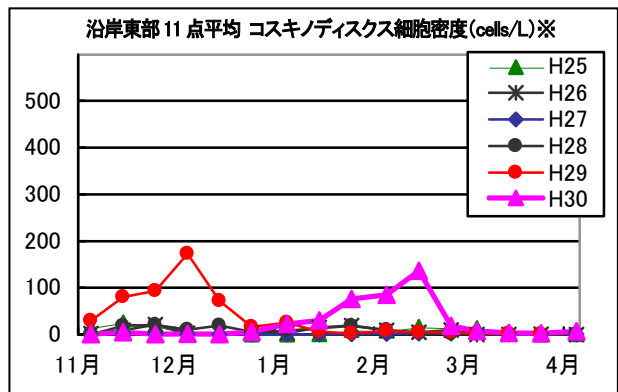
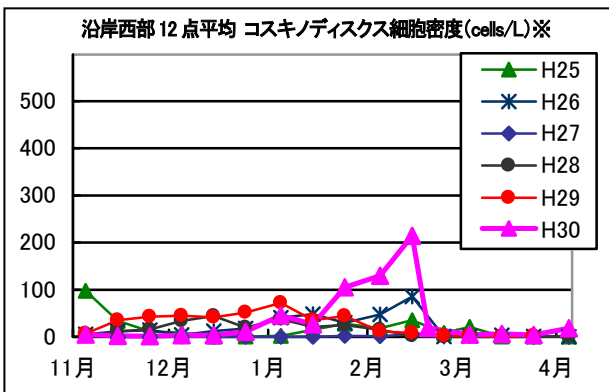
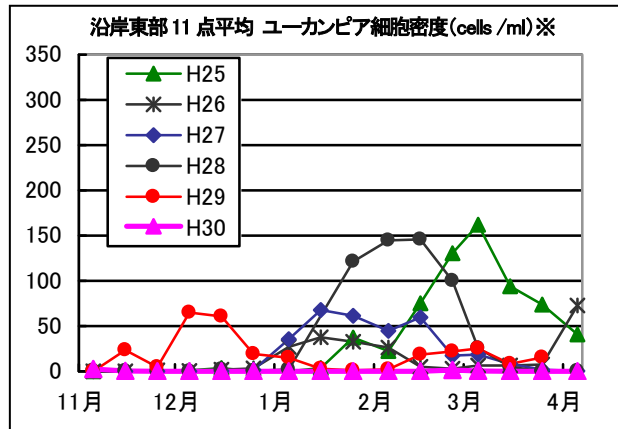
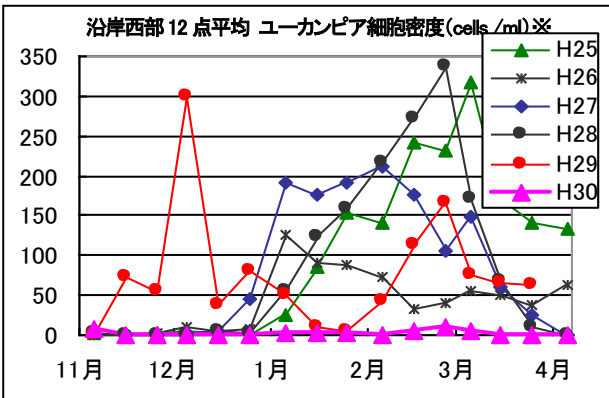
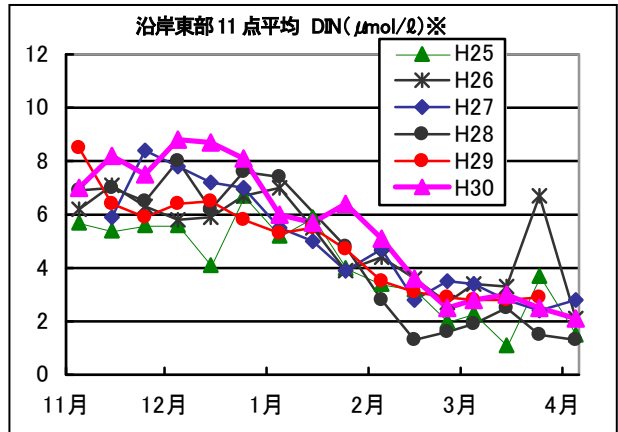
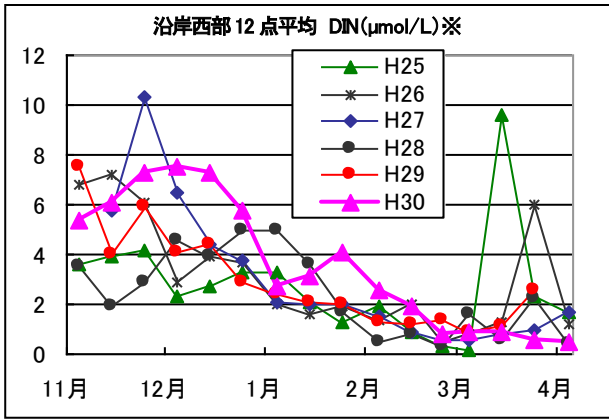
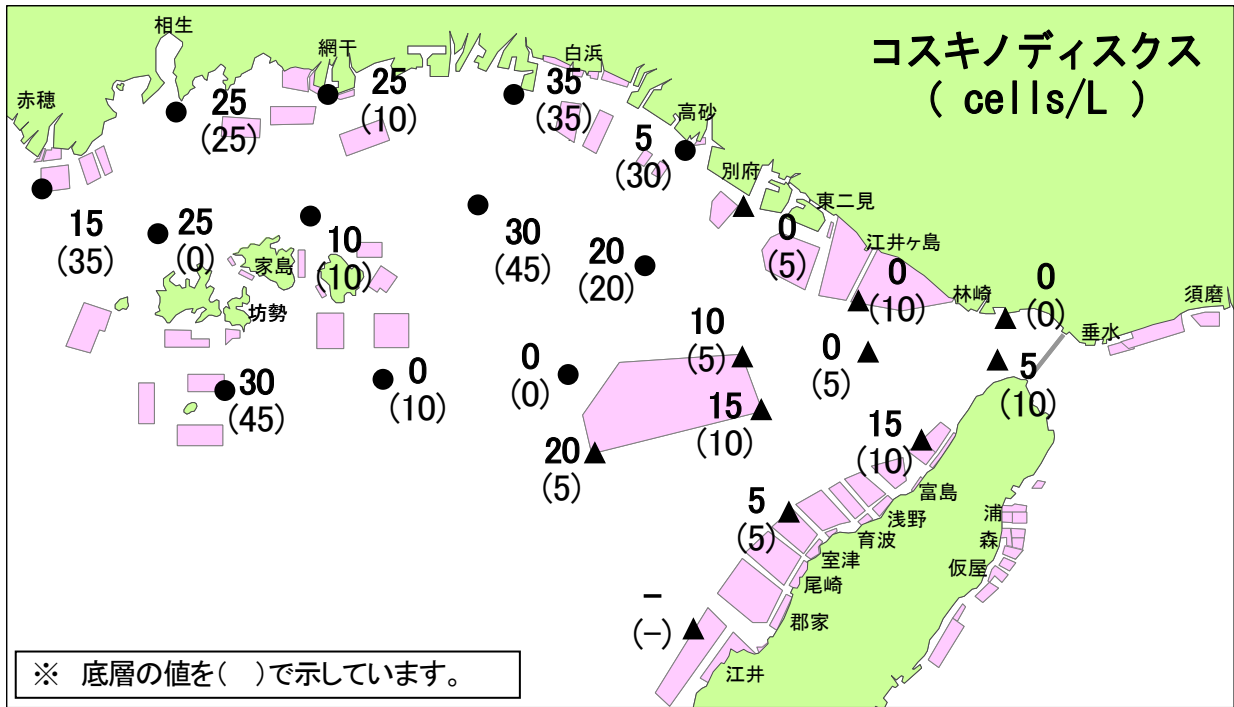
〔調査箇所は地図上に▲(東部)および●(西部)印で表示しています。〕

概況 播磨灘北部(調査海域)の表層DIN濃度は、概ね $3\mu\text{mol/L}$ 以下の値で推移しています。北西部沿岸及び西部沖合海域では、 $1\mu\text{mol/L}$ 以下となっています。

大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーは確認されていますが、数は少ない状況です。ユーカンピアは確認されませんでした。

水温は、白浜以西では $11.2\sim 11.5^\circ\text{C}$ 、家島諸島周辺では $11.2\sim 11.5^\circ\text{C}$ 、江井ヶ島・高砂周辺で $11.4\sim 11.8^\circ\text{C}$ 、明石海峡付近並びに西浦では $11.6\sim 12.4^\circ\text{C}$ 、鹿ノ瀬周辺では $11.6\sim 11.9^\circ\text{C}$ でした。





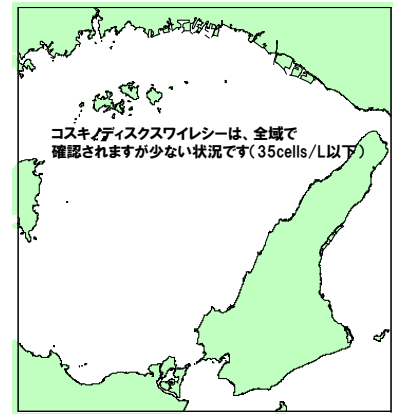
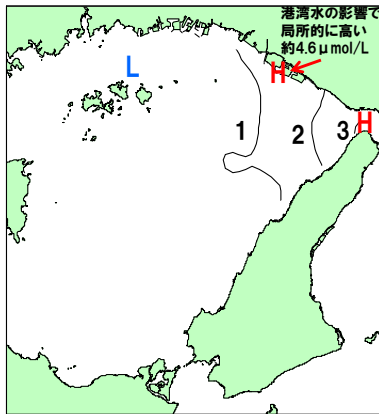
※1: 数値はすべて表層の値です。2: 調査地点は、沿岸東部 11 点は▲、沿岸西部 12 点は●で表示しています。

平成31年4月2～3日の水平分布状況(表層、実測値)

溶存態無機窒素濃度(DIN, $\mu\text{mol/L}$)

ユーカンピア(cells/ml)

コスキノディスクス(cells/L)



* Hは濃度又は密度が高く、Lは低いことを示しています

播磨灘における今後の栄養塩等に関する動向見込み

播磨灘北部の表層のDIN濃度は、概ね $3\mu\text{mol/L}$ 以下でした。ただし、北西部沿岸及び西部沖合海域では、概ね $1\mu\text{mol/L}$ 以下となっています。大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーはわずかに確認される程度、ユーカンピアは確認されませんでした。

大阪管区気象台の週間天気予報では、降水量は平年より少ないとされており、海域全体の短期的な栄養塩濃度の推移は現状維持程度と考えられます。

週間天気予報 気象庁4月3日16時32分発表 ※気象庁ホームページより転載

向こう一週間の近畿地方は、期間の前半は高気圧に覆われて晴れる日が多いですが、5日は気圧の谷の影響で雨の降る所もあるでしょう。期間の後半は気圧の谷や湿った空気の影響で雲が広がりやすい見込みです。最高気温、最低気温はともに、平年並か平年より低いでしょう。降水量は、平年より少ない見込みです。

その他の情報

- ・岡山県の情報は3/4から、香川県の情報は2/26から更新されていません。
- ・香川県の調査については、以下のURLから参照してください。

<http://www.pref.kagawa.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

※栄養塩の単位： $\mu\text{mol/L}$ = $\mu\text{g}\cdot\text{at/L}$ = μM

【今後の予定】

- ・今漁期の情報提供は今回で終了します。

*この情報は、ホームページでも見ていただけます。以下のURLにパソコン等からアクセスして下さい。

<http://www.hyogo-suigi.jp/>